

～人力作業だけでなく、重機も初めて使用しました～

～豊岡河川国道事務所～



円山川水系ではアユの遡上数が激減しているため、河床に大きな石や砂が堆積するなど、産卵に不適な箇所をじょれん等で耕して浮き石状態にして、産卵しやすい河床環境を創出する産卵場造成実験を毎年10月頃に行っています。その結果、実験を始めた3年前からアユの産卵数は増加傾向にあります。

今回は円山川本川で初めての実験で、これまで他箇所で行ってきたような人力作業だけでなく、初めて重機も使用して産卵場を造成しました。また、河川環境をきれいにすべく、周辺のごみ拾いを実施しました。

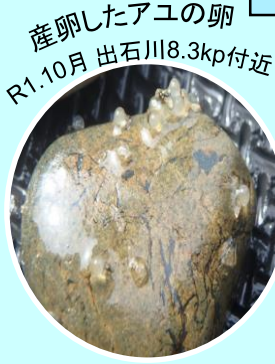
上流から下流へ河床耕うん開始👉



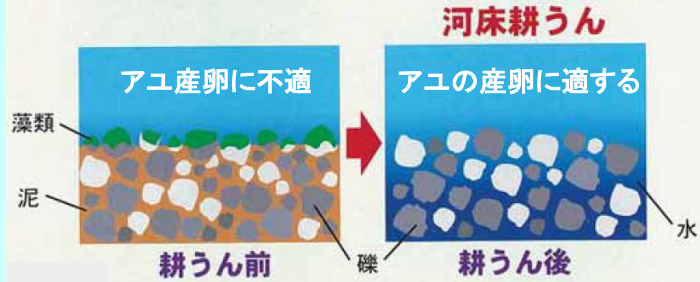
日時：令和3年10月4日（月）13:30～15:30
場所：円山川 中郷遊水地（下池）前
（円山川19.0km付近）

参加者：81名

豊岡市、円山川漁協、中筋地区住民、コウノトリ市民研究所、兵庫県立大学大学院、日本ハンザキ研究所、但馬県民局地域政策室、豊岡土木事務所、河川工事受注者、豊岡河川国道事務所
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当日の検温及びアルコール消毒、マスク着用の上、作業を実施しました。



重機を使用し産卵場を造成、その後に人力による耕うんを行いました！！



出典：アユの人工産卵床の作り方（水産庁HP）



ごみ拾いも頑張りました！

産卵場造成実験後に頂いた意見

- ・石の下に空隙が出来るように意識して行った。耕うんした河床に産卵するかが非常に楽しみです。
- ・川を守るため、地域の方々の参加があり、とても良い取組みと思いました。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所 調査課
〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町10-3 TEL 0796-22-3126(代表)

